

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	独立行政法人 国立病院機構 南九州病院	
薬剤部科URL	https://minamikyusyu.hosp.go.jp/medical/bumon/yakuzai/	
キャッチコピー	多職種とともに学び、挑戦し、成長する ― ここでしか得られない経験を。	
学生へメッセージ	当院の薬剤師は、感染対策、栄養サポート、緩和ケア、褥瘡（じょくそう）対策、認知症ケアなど、さまざまな医療チームで活躍しています。多職種と連携しながら実践的に学べる環境が整っています。 また、がん化学療法や急性期医療に加え、重症心身障害児（者）病棟や筋ジストロフィー病棟、緩和ケア棟など、全国的にも珍しい病棟での経験も積むことができます。昨年度からは「がん薬剤師外来」も始まり、副作用対策を中心とした支持療法の提案を積極的に行っています。 ここには、幅広い分野で「学び」「挑戦し」「成長できる」チャンスがあります。「ここでしかできない経験をしたい」「地域医療に貢献したい」――そんな想いを持つあなたを、私たちは心から歓迎します。一緒に未来の薬剤師をつくっていきましょう！	
プロフィール	当院は、一般診療部門210床・重症心身障害児（者）病棟129床・筋ジストロフィー病棟80床を併せ持つ、全国的にも珍しい複合型病院です。一般病棟のうち19床は緩和ケア棟で、病室からは鹿児島島のシンボル・桜島を望むことができ、患者さんに大きな癒しを提供しています。 「学びのフィールドは無限大！」 感染制御、栄養サポート、緩和ケア、褥瘡対策、認知症ケアなど、各種医療チームに薬剤師も積極参加、がん化学療法や急性期医療に加え、重心病棟・筋ジス病棟・緩和ケア病棟など 希少な領域で経験を積める、チーム医療を通じて多職種と連携する力を養える、認定薬剤師の下で、より専門的なサポートを受けながら学べる 「働きやすさも万全！」 自動散薬ロボット「DimeRo」を導入し、調剤の効率化を実現、疑義照会事前同意プロトコルを院内外で導入、プロトコルに載っていれば薬剤師判断で処方変更が可能、医師・薬剤師双方の負担を減らし、より安全でスムーズな医療提供をサポート	
連絡先	0995-62-2121（薬剤部へ）	
アクセス	JR日豊本線錦江駅下車徒歩20分、鹿児島交通国立病院前下車すぐ、九州自動車道加治木インターより車で7分	
診療科目	呼吸器外科・外科（休）、内科・呼吸器科・放射線科・脳神経内科・循環器科・小児科、リハビリテーション科・緩和ケア内科・消化器内科、麻酔科・整形外科（休）	
病床数	425床	
病院の特徴	臨床研修指定病院・病院機能評価認定3rdG:Ver.2.0	
アピールポイント	「じっくり学べる教育環境 × 最新機器のサポート」慢性期患者さんが一定数いるため、新人教育に最適な環境、自動散薬ロボット「DimeRo（ディメロ）」の導入で、効率的かつ安全に調剤を学べる 「働きやすい勤務体制」土日の当番は原則午前中まで、午後はオンコール対応、当番以外はカレンダー通りの休日、プライベートの時間も確保しやすい	
研修施設		
薬剤師数	8人	
薬剤師構成	（男女比）男性 4 ： 女性 4	年齢構成 20代2名 30代1名 40代3名 50代2名
認定資格・数	がん薬物療法認定薬剤師1人、NST専門療法士2人、GCPパスポート1人、認定実務実習指導薬剤師3人	
臨床研究実績	日本医療薬学会年会、国立病院総合医学会で各3題発表	
チーム医療活動	感染制御、栄養サポート、緩和ケアチーム、褥瘡対策チーム、認知症ケアチーム	
院内保育園（連携含）	☒ 有 ☐ 無	